

新春



インタビュー



渡部 修 市長

昨年を振り返って

昨年は磐田卓球場ラリ
ーナやアーチェリー場、
図書館機能と子育てなど
の相談機能を備えた複合
施設「ひと・ほんの庭
にこつと」がオープンし、
子育て世代からシニア世
代まで幅広い市民交流の
場が新たに誕生しました。

また「中学生スタートア
ップ応援事業」も始まり、
将来を担う子どもたちが
夢や希望を持ち、たくま
しく育つような環境づく
りをまた一つ進めること
ができました。

スポーツでは、卓球の
伊藤美誠選手、水谷隼選
手の活躍もありました。
特に伊藤選手の活躍は素
晴らしかったですね。磐
田市出身の二人の活躍は
たいへんうれしく、誇ら
しいものです。今年の日
本でラグビーワールドカ

ップ2019TMが開催さ
れ、磐田市も合同キャン
プ地に選ばれています。
ラグビーのヤマハ発動機
ジュビロ、サッカーのジ
ュビロ磐田などスポーツ
分野の活躍は今年も大い
に期待しています。

まちづくりは人づくり

まちづくりは人づくり、
地域づくり。そんな思い
でずっとやってきました。
「人」とは、市職員だけ
でなく、地域に関わる全
ての人のことですが、職
員には「市民第一、現場
第一、行動第一」の気持
ちで常に挑戦の意欲を持
った組織を目指して鍛え
てきました。いざという
ときに頼りになって何で
も気軽に相談できる、市
民にとって身近な存在で
あってほしいと願ってい
ます。

市民・職員と共に歩んできた10年

4月で市長となり10年
がたちますが、当初から
力を入れてきた行財政改
革は今後も継続し、無駄
遣いではなく必要遣いの
できる市政運営をしてい
きたいです。

リーマンショック後に
就任し、東日本大震災な
ど苦しいことを経験して
きました。これからも市
長として、市民感覚を大
事にしながら、社会状況
の変化に柔軟に対応でき
る強い磐田市の地盤をよ
り強固なものにしていき
たいですね。

キーワードは「自立」

頼られる市役所とは言
いましたが、何か起こつ
たときに一番最初に困る
のは身近にいる家族や自
分自身です。昨年10月に

は台風24号により、市内でも大規模な停電が発生しました。もちろん行政として全力で対応しましたが、乾電池や水など事前に備えておけば気持ちは余裕ができたのではないかと思います。

災害に限ったことではありませんが、他人ごとではなく自分ごととして捉え、どうすべきか、どう行動すべきか。常に市民一人一人が考えることで、よりいい市になるのではないかと思います。行政の力だけではない市にはなりません。市民の皆さんの協力が必要です。そのための人づくりであり、地域づくりに取り組んでいます。自らが主体となって地域の役に立ちたいと思う方への支援をこれからも続けていきたいと思っています。

子育て・教育なら磐田

以前から進めてきた学府一体校の先駆けとなる「ながふじ学府一体校」の基本設計が出来上がり、2021年4月の開校を目指しています。

私が一貫教育を進める理由は、子育て・教育も人づくりであり、これまでの小学校や中学校という学校の枠にとらわれることのない、児童・生徒のつながり、先生とのつながり、そして地域とのつながりなどを大切にしたいと考えるからです。また「ひと・ほんの庭にこつと」は子育て世代からシニア世代までが集う交流の場となっています。人や地域のつながりを深めるまちづくりで、そこで育つ子どもたちの可能性を伸ばしていきたいと思っています。

子どもたちを

全力でサポート

自分自身、中学校時代につらい時期がありました。そこを乗り越えられたのは、家族や周りの人の支えがあったからこそです。身近な人の優しく思いやりのあるひと言葉で救われました。磐田の子どもたちにも、自分一人じゃないということを知ってもらいたいと思っています。

子どもたちに寄り添う、そんな思いを込め「中学生スタートアップ応援事業」は始まりました。微力ではありますが、子どもたちの心のサポートと家庭への経済的な支援をしていきたいです。また、安心して学べる環境づくりとして、市内の全公立小中学校へのエアコン整備についても、

早期実現を目指して全力で取り組んでいきます。

一日一善で

優しいまちに

昨年、いろいろなことを振り返る機会があり、改めて思ったことは「気持ちの優しい市をつくりたい」ということ。例えば、他人に対して一善、自分にも一善、合わせて一日二善行えば、人々の優しさがあふれるまちになりますよね。理想論かもしれませんが、小さな事でも積み重ねていけば、形になることもあると思っています。なんで磐田市の出身者って優しいんだろうと人から言われるようになると思います。

市民の皆さんへ

今後新東名スマートインターチェンジやJRR

新駅、海岸堤防、こども園などの整備が進んでいきます。防災・福祉・子育て・教育などの事業をバランス良く進めて住みやすく、安心して暮らせるまちをつくっていきましょう。一人でも多くの市民に「磐田って住みやすいね」「磐田っていいな」と思ってもらえるようなまちを目指し、これからも頑張っていきます。自分自身もそうですが、健康に気を付けて、市民の皆さんが、昨年よりもほんのちよつとでもいい年になるとうれいす。市内に笑顔があふれる1年になるといいですね。

